

東日本大震災

2011年3月11日

「東日本大震災、被災現場からの報告」

シンポジウム 「震災とICT」

2011年9月30日

名取市長 ^{いそお}佐々木一十郎









発災直後の災害対策本部

- 被害状況把握に全力を
- 救える生命を救おう
- 避難所の開設
- 水・食料・毛布の配布
- 救助活動・避難所に必要な資機材調達











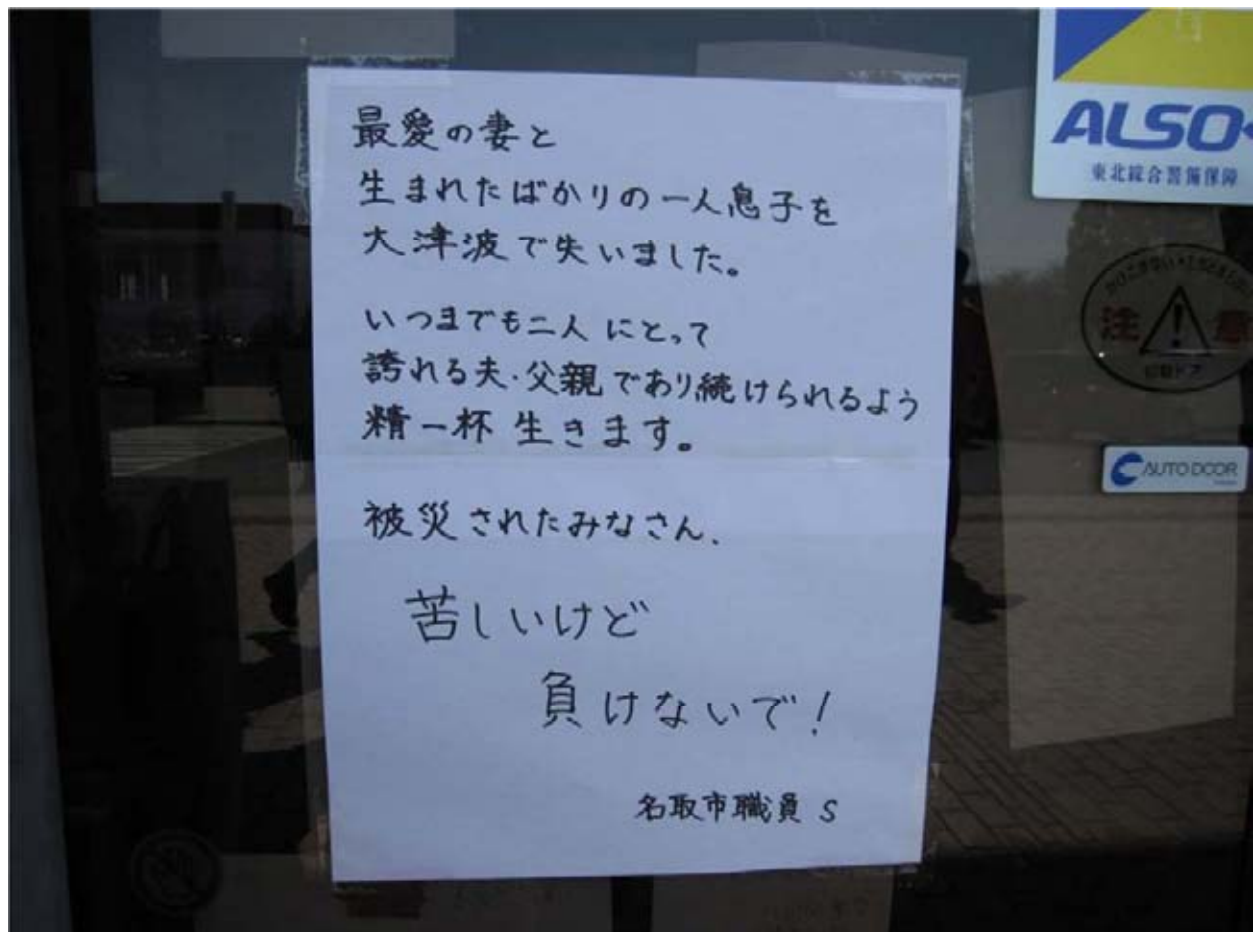




















り災証明書申請手続き



り災証明書申請手続き



仮設住宅入居説明会



東日本大震災 名取市での発災状況

- 14:46 東北地方太平洋沖地震(M9.0)発生

東日本大震災 名取市での発災状況

- 14:46 東北地方太平洋沖地震(M9.0)発生
- 15:51 津波の第一波

東日本大震災 名取市での発災状況

- 14:46 東北地方太平洋沖地震(M9.0)発生
- »この間 1 時間 5 分
- 15:51 津波の第一波

東日本大震災 名取市での発災状況

- 14:46 東北地方太平洋沖地震(M9.0)発生

»この間 1 時間 5 分

この間に逃げられたかどうか

- 15:51 津波の第一波

避難指示伝達方法

- 防災行政無線
- テレビ
- ラジオ
- 消防本部・消防団車両での広報
- 町内会・自主防災組織の広報
- 隣近所の声かけ

避難指示伝達方法

- 防災行政無線
× 電源ショートで
- テレビ
× 停電でほとんど
- ラジオ
オ ○ 携帯ラジ
- 消防本部・消防団車両での広報 ○ 全力で活動

災害時に生き残る情報伝達手段

- 電 話
- 携帯電話
- 携帯メール
- インターネット
- 衛星携帯電話
- 行政無線(県との連絡)
- アマチュア無線

災害時に生き残る情報伝達手段

- 電話
ログ △ 光・停電で× アナ
- 携帯電話 輻輳し繋がりにくい △
- 携帯メール 何とかなれば ○
- インターネット ほとんど△ 復旧は3/16△
- 衛星携帯電話 問題なく ○
- 行政無線(県との連絡) 問題なく ○
- アマチュア無線 リピータ局は発電機で ○

災害発生時に 災害対策本部が把握したい情報

- どこに誰が避難しているか
- 各避難所に何人いるか
- 要援護者はどこに何人いるか
- 避難所で必要なものは何か

被災者が欲しい情報

- 自分の家族は無事か
- どこにいるのか
- 友人・知人・同僚は無事か

被災者が欲しい情報

- 自分の家族は無事か
- どこにいるのか
- 友人・知人・同僚は無事か
- 震度や津波被害などの震災情報
- 水道・ガス・電気・電話などのインフラ情報
- 道路・鉄道・バスなどの交通インフラ情報
- ガソリン・灯油などの燃料情報
- 食料・生活物資などの情報

被災者が欲しい情報

- 自分の家族は無事か
- どこにいるのか
- 友人・知人・同僚は無事か
- どのような援助プランがあるのか
- 自分はどんな援助が受けられるのか
- 仮設住宅に入ることができるのか
- いつ入居できるのか
- 仮設住宅の家電はどんなものか

被災者が欲しい情報 2

- 自分の土地がどうなるのか
- 家は建てられるのか
- 誰がいつどこで復興プランを作るのか
- どのような復興プランが出てくるのか
- そのプランで安全は守られるのか？
- 自己負担はいくらなのか
- 復興プラン実現の財源は？

避難所での暮らし

- プライバシーは無いが隣近所のコミュニティが機能しており互いに助け合える
- とりあえず食事がとれる
- 情報が希薄
 - 壁新聞 うわさ 行政からのお知らせ さいがいFM
 - テレビ（NHKテレビのテロップ情報が古く、訂正を申し入れてもなかなか変更されない）
- 欲しいものが手に入らない
- 移動の足がない
- お金がない

災害対策本部で困ったこと

- 停電
- 断水
- ガソリン等の燃料枯渇
- 政府のコントロール麻痺
- 連絡網がない
- マニュアルに想定していない規模の災害なのでマニュアルが指針にならない
- マニュアル通りに行動する県警
- 自己判断が苦手な職員のスキル

災害時における情報発信の課題

- 使える資源を使って情報発信をしたい
- インターネット
- 携帯メール配信
- 壁新聞
- さいがいFM

災害時における情報発信の課題

- 使える資源を使って情報発信をしたい
- インターネット
- 携帯メール配信
- 壁新聞
- さいがいFM
- 問題は、災害時の混乱の中で、情報を収集し発信する人員の確保

名取市長からの指示

- マニュアルに頼るな
- 本来どうあるべきかを考え、
ポリシーで動け

被災情報一元化の課題

- 被災者情報の一元管理の手段
- 既存の管理ソフトが使いにくいので、結果的に部門ごとにバラバラのデータ管理をしてしまう
- 被災状況や 被災証明の査定結果を表示するGISソフトと被災者情報一元管理ソフト

被災情報一元化の課題

- 被災者情報の一元管理の手段
- 既存の管理ソフトが使いにくいので、結果的に部門ごとにバラバラのデータ管理をしてしまう
- 被災状況や 被災証明の査定結果を表示するGISソフトと被災者情報一元管理ソフト
- ベンダー独自の住基データ漢字(外字)コード

ICT各社からの支援に感謝

- ノートパソコン
- 携帯電話
- 無線LAN用機器
- アマチュア無線ハンディー機
- 電子黒板
- 震災前後比較映像
- 仮設住宅用無線LAN環境
- 仮設住宅用見守りセンサー
- 仮設住宅用パトライト

ICT各社からの支援に感謝

- みなさんは、
災害時に必要とされる多くの資源をお持ちです
- ただ、どこに行って、何をするのか
- コーディネーターがおりません
- 事前にあらゆることを想定し、市町村と災害時応援協定を結んでおくことが有効です

ICT各社からの支援に感謝

- みなさんは、
災害時に必要とされる多くの資源をお持ちです
- ただ、どこに行って、何をするのか
- コーディネーターがおりません
- 事前にあらゆることを想定し、市町村と災害時応援協定を結んでおくことが有効です
- ご静聴ありがとうございました。
- これからも、どうぞよろしくお願いいたします。